



まちに惹かれ移住した仏師 辻高明さん

徳島県出身で、学生時代を過ごした京都で仏師という世界に興味を持ちました。仏師とは、お寺などからの依頼で仏像の作成や修理を行う仕事です。犬山に住むきっかけとなったのは、仏師として独立し住まいを探していたときにたまたま訪れた犬山のまちの雰囲気惹かれたから。それ以来、7年以上この犬山に住んでいます。

犬山の魅力は、歩ける範囲に色々あって、すぐ近くに人が集まる場所があるところ。コンパクトにまちが

まとまっていると思います。名古屋に近いのも魅力のひとつ。徳島や京都に行くのにもとても便利です。

今では城下町でデッサン教室を開いたり、武道館で剣道をしたりと、すっかり犬山人となりました。今後も犬山を拠点に活動していきたいです。

農業をフィールドに里山の魅力をPR

佐藤練さん

善師野に移住して5年。ご縁あって田畑を始めました。名古屋からほんの少しの距離に、これほど美しい里山の風景が残っているのかと感動したことを覚えています。

現在、城東地区の清水寺に隣接する山々、田畑をフィールドに活動しています。何もわからなかった農業ですが、地域の方々に教わりながら、現在では子ども向けに田植え体験や稲刈り体験を行うようになりました。ハローワークの求職支援として、農業講座の実施など、少しずつですが活動を広げています。

地域の方々は、季節や天候のこと、土のこと、作物のこと、自然のことなど、知恵や生きるための術を豊富に持っています。これらの術を学び、人の手が入り活用していた里山の風景を、子ども達に少しでも残したいと日々奮闘しています。



わたしの 「いぬやまスタイル」



城下町のパン屋さん和大工さん 奥山玲子さん・敦志さん

玲子さん：東京から犬山に夫婦で移住して10年。「城下町のパン屋さん 茶蔵 I's」をやっています。苦労もありますが毎日が楽しい。地域の人や友達、家族など、みんなに支えられていると感じます。

ここは、私が生まれ育った東京の下町育ちと似ている気がします。いつどこへ行っても知り合いや顔見知りがいる。地域との繋がりのある暮らしに安心感があります。

パン屋の奥には、小さなカフェがあります。地域の人に来て、色々話をしていってくれる、自然と人が集まる場所が作りたいたいなあとと思ってカフェ席を設けました。80歳を過ぎた近所のおばあちゃんが、毎日、パンを食べに来てくれます。

敦志さん：この城下町で、景観を保ちながら古民家再生や店舗リフォームを手がけています。町内会を通して、地域の人と繋がることができました。仕事柄、地域の人と不動産会社などのかすがい役を担っています。みなさんオープンな人が多く、人柄の良さを感じる日々です。ここは町並みが美しく、散歩をしていてもおもしろいです。旅行に出掛けて戻ってくると、ここは本当に魅力的なまちだなあと改めて感じます。この犬山に住み続けたいと思っています。

ここ犬山で新たなチャレンジに挑む
若者たちが増えています